

松田町の待機児童の現状

対策について



質問者
武尾 哲治

議員



質 待機児童の現状について。

答 11月末時点での待機児童は0歳児2人、1歳児2人計4人です。年度初めで大方の定員が埋まるため年度途中の入園は例年難しい状態である。

質 途中入園の申込手続きの状況は。

答 随時申込を受付けており、要件を満たしているか確認した上で、入園希望の前々月の末日までに申込を完了した方を対象に、入所の調整・協議を行っている。

質 母子手帳発行時にヒヤリング等行い長期的な保育計画はたてられないのか。

答 母子健康手帳交付の際や、出産後の赤ちゃん訪問の際も、その都度ヒ

ヤリングは行っているが、長期的な保育計画には至っていない。

質 保育士不足問題について。

答 さくら保育園は児童定数が多いため、年によっては確保が難しい。



待機児童ゼロの町をめざします

回答 (町長)

質 保育士の処遇改善について。

答 職員の経験年数や職責等に応じて、国が決定した公定価格による処遇改善に基づき給付してい

松田さくら保育園



る。また、町独自の支援として、雇用経費として活用出来るよう、保育対策支援事業補助金を予算計上し、支援を行っている。

質 今後保育園と幼稚園の間で先生同士が交流を持ち待機児童の解消を図れないものか。

答 待機児童については、保育士が不足していることが主な要因である。高まる保育ニーズに対応していかななくてはならないため、保育園と幼稚園の人事交流も含めて、あらゆる施策を講じて待機児童ゼロの町をめざしていく。

西平畑公園の

活性化策について



質問者
田代 実

議員



西平畑公園は松田山の活性化策の目玉として、平成7年にハーブ館(園)がオープンしてから30年近くが経過しています。しかし、ハーブ館を始め、公園内に整備された遊具やミニSLなどの施設は老朽化しています。

一方、令和5年7月から「TUDOOR」合同会社」が、指定管理者として管理運営をしていますが、収支面で厳しい状況にあるとのこと。

そこで、西平畑公園の今後の活性化策について町長にお伺いします。

質 公園内の老朽化した施設のリニューアルについて。

質 収支面で厳しい状況にある指定管理者について。

答 ハーブ園内散策路は老朽化しているので、観光の補助を受けて500万円程の工事を12月から行う。ハーブ館やミニSL、遊具などの補修は公園内施設整備計画を策定すると共に、公共施設整備計画との整合性を図っていく。

一方、令和5年7月から「TUDOOR」合同会社」が、指定管理者として管理運営をしていますが、収支面で厳しい状況にあるとのこと。

そこで、西平畑公園の今後の活性化策について町長にお伺いします。

質 公園内の老朽化した施設のリニューアルについて。

質 収支面で厳しい状況にある指定管理者について。

公園内施設整備計画を策定する

回答 (町長)



答 指定管理者の決算は年間600万円程赤字になっている。施設の魅力向上のための改修やリニューアル計画を推進し、赤字経営から脱するような方策を展開していく。

質 西平畑公園の入込客と年間を通しての活性化策について。

答 ハーブ園内に八重桜を植栽して、4月〜6月の誘客活動を図る。また、指定管理者からドックランエリアの提案を受けているので、関係機関と調整し諸問題をクリアできれば活性化策の一策として取り組みたい。



西平畑公園及び松田山ハーブガーデン

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。